

Panasonic

FM-AMデジタルクロックラジオ

品番 RC-6199

取扱説明書

保証書別添



上手に使って上手に節電

- 取扱説明書と保証書は、よくお読みのうえ、大切に保管してください。
- 保証書は必ず「販売店名・購入日」等の記入を確かめて、販売店からお受取りください。

このたびはパナソニックFM-AMデジタルクロックラジオ「RC-6199」をお求めいただきまして、まことにありがとうございました。

目次

安全にご使用いただくために	3
各部のなまえ	4
時刻を合わせるには	6
ラジオ・テレビ(1~3チャンネル)の 音声を聞くには	7
めざまし時計として使うには	8
おやすみタイマーを使うには	12
おやすみタイマーとめざましを 上手に使うには	13
停電補償用乾電池について	14
アフターサービスについて	15
定格	裏表紙

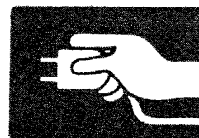
安全にご使用いただくために

必ずAC(交流)100Vでお使いください。

 **AC100V**

電源プラグの抜き差しは

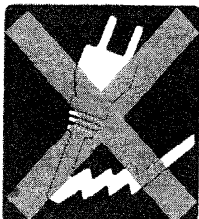
- 必ず電源プラグを持って行ってください。
- ぬれた手で抜き差ししますと、感電するおそれがあり、非常に危険です。



電源コードにも注意

(火災や感電事故防止のために)

- 電源コードの傷、断線、プラグの接触不良にお気づきのときは、使用を中止し早めにお求めの販売店にご相談ください。
- 無理に折曲げたり、引張ったり、ねじったり、継ぎたすなどの加工は絶対にしないでください。



高温になるところに放置しないでください。

- 長時間直射日光の当たるところ、暖房器などの近くで使用したり、放置しないでください。
60℃以上の高温になると、キャビネットが変形し、変色したりすることがあります。
- 湿気の多いところやほこりの多いところでは使用しないでください。

本機内部には触れないで

- 改造したり、不用意に内部にさわると、感電や故障の原因になります。
- 内部に金属類(針、ヘアピンなど)を差しこむと感電や故障の原因になります。

本機に水がかかったとき

- ただちに使用を中止して、お求めの販売店にご相談ください。
そのまま使用すると火災や感電のおそれがあり、大変危険です。

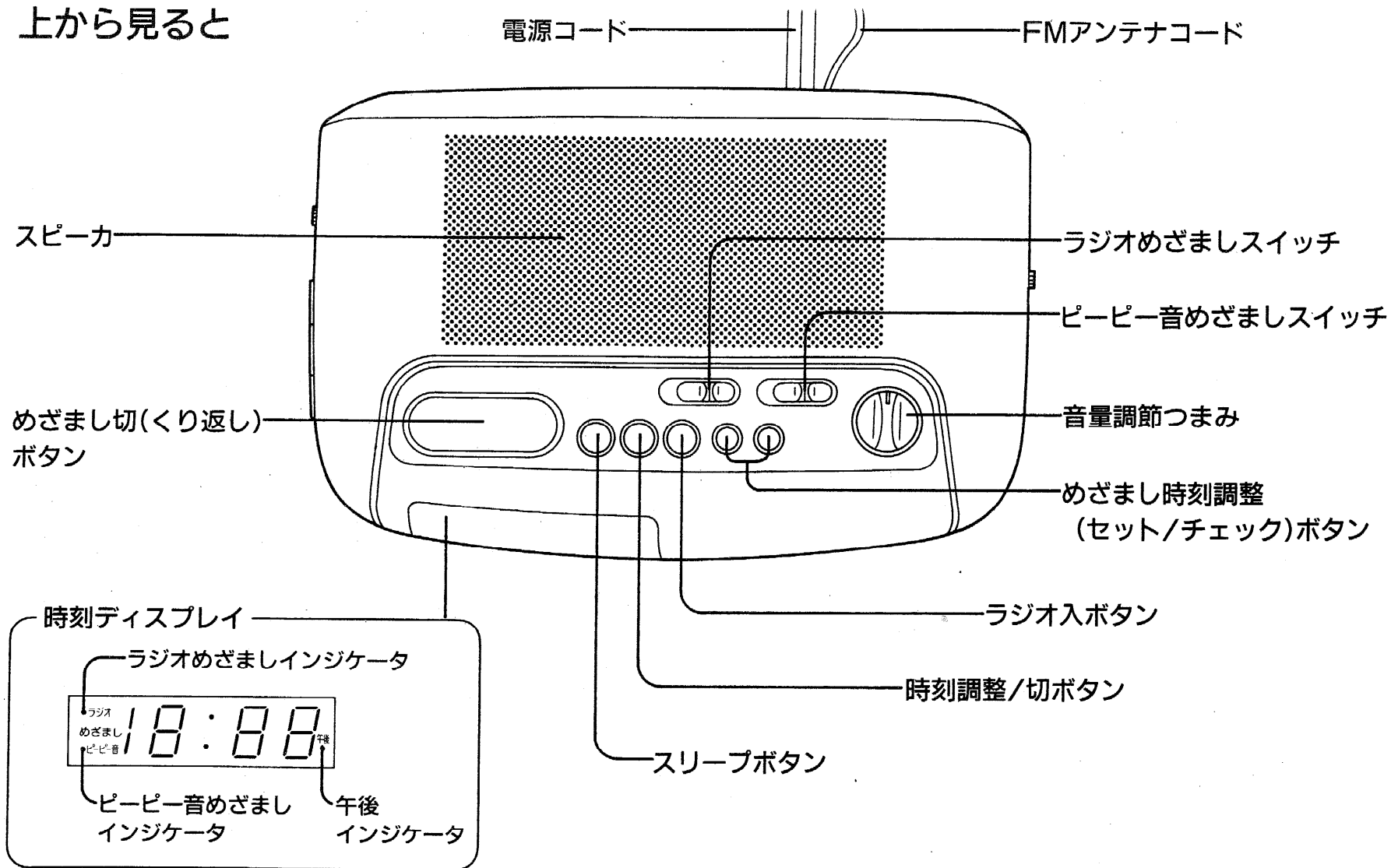


その他

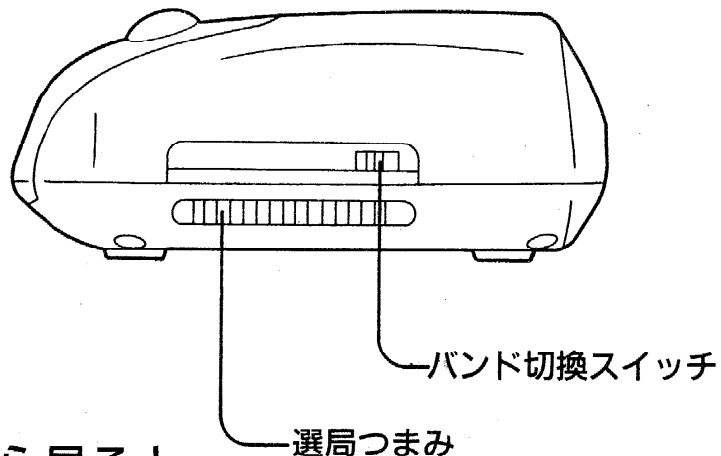
- 雑音を発生する電機器具(蛍光灯、モータなど)からできるだけ遠ざけてください。また、電源プラグの差し込み方向によって「ブーン」という雑音の出ることがありますが、このときは、差し込みを逆にしてみてください。

各部のなまえ

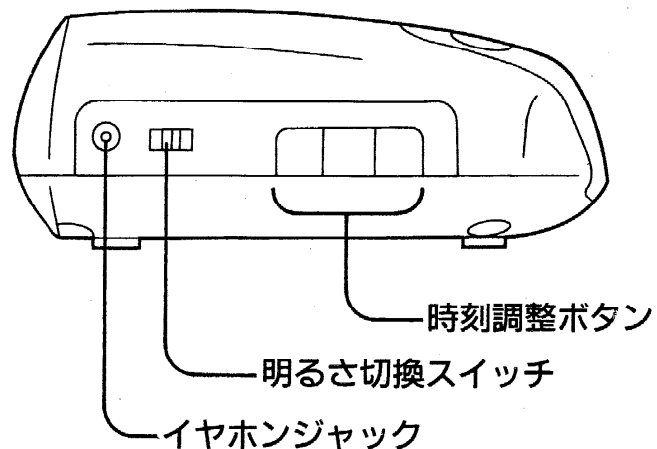
上から見ると



右から見ると

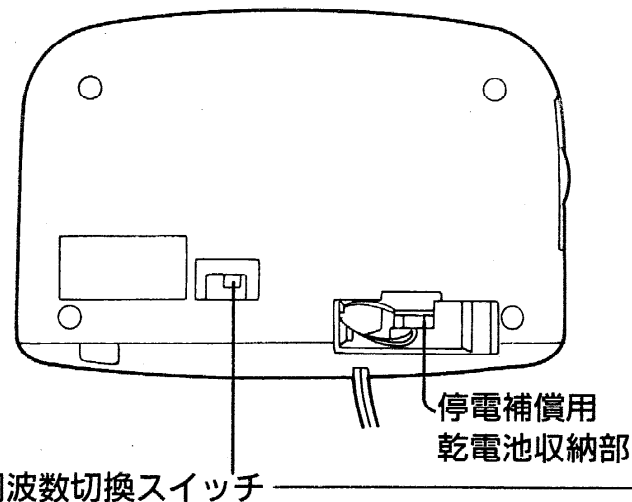


左から見ると

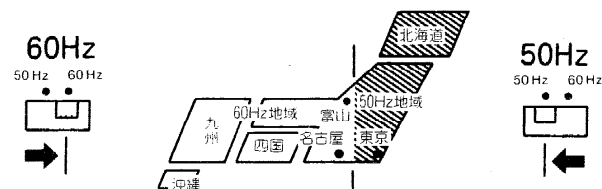


耳を刺激するような音量で、長時間続けてお聞きになることは避けてください。

下から見ると



小型のマイナスドライバーやボールペンなどで、あなたの地域の電源周波数(50Hzまたは60Hz)に合わせてください。



- 周波数が逆になっていると、時計は正確に動作しません。不明のときは最寄りの電器店、または電力会社へお問い合わせください。

時刻を合わせるには

1 電源コードを差込みます。

- 時刻ディスプレイに“12:00”が点滅します。

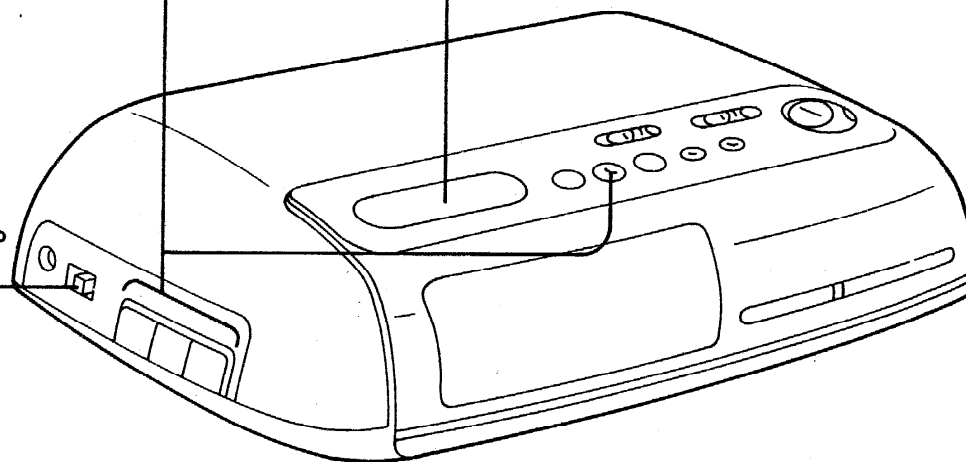
2 時刻調整/切ボタンを押しながら、セットの左側にある時刻調整ボタンで時刻を合わせます。

- “早く”ボタンと“進む”または“戻る”ボタンを同時に押すと、時刻表示を大きく前後させることができます。
- 時刻ディスプレイの点滅は点灯になります。
- 午前、午後が間違っていないか、ご注意ください。
(午後の場合には、午後インジケータが点灯します。)
- 時刻調整のたびに、自動的に秒は“00”になります。

3 明るさ切換スイッチを“明”または“暗”にします。

秒表示を確認するには

めざまし切ボタンを押すと、時刻表示は分の下一桁と秒を表示します。 (例) 6時15分8秒



ラジオ・テレビ(1~3チャンネル)の音声を聞くには

本機はテレビの音声(1~3チャンネル)も受信できます。

ダイヤル目盛に“1”“2”“3”の表示がありますので、FM放送を聞く要領で操作してください。

1 ラジオ入ボタンを押します。

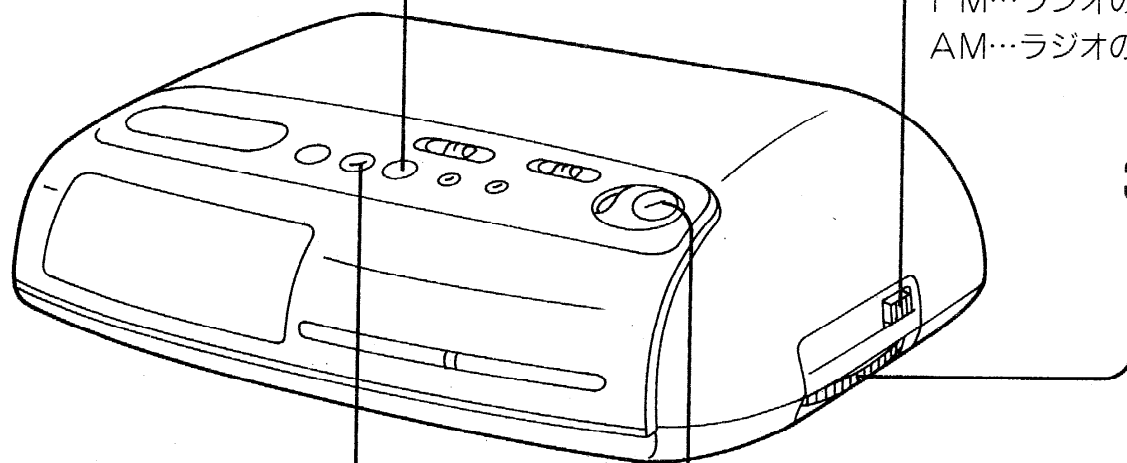
2 “FM”または“AM”にします。

FM…ラジオのFM放送とテレビの1~3チャンネル

AM…ラジオのAM放送

3 選局します。

4 音量を調整します。



ラジオ入ボタンを押すと、ダイヤル目盛が明るくなります。暗い部屋でお使いになるとき便利です。

ラジオを切るときは、時刻調整/切ボタンを押します。

AM放送を聞くときは、内蔵のフェライトアンテナが働きますので、本体を最もよく聞こえる向きにしてください。

FM放送を聞くときは、電源コード引出し口より出ているFMアンテナコードを伸ばしてお使いください。

めざまし時計として使うには

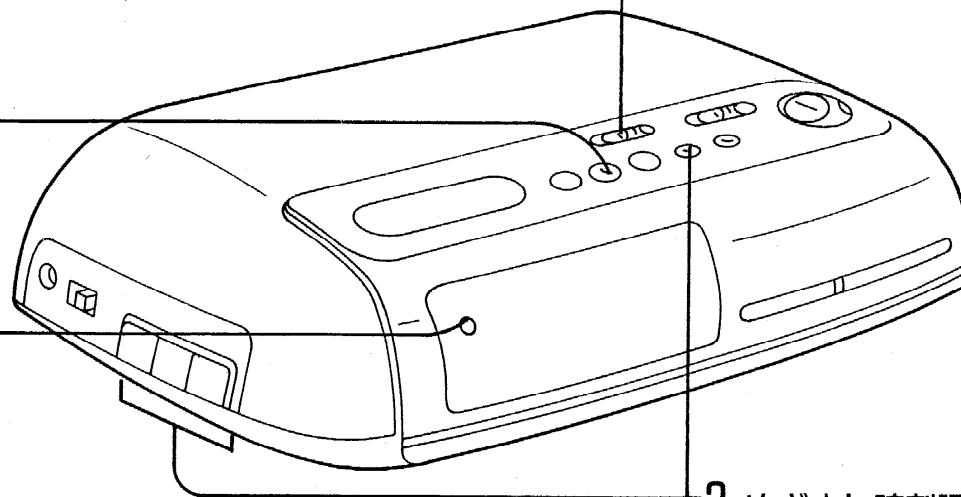
本機はラジオ音（ラジオめざまし）とピーピー音（ピーピー音めざまし）の2種類のめざましがそれぞれ独立してセットできます。

■ラジオで起きるには（ラジオめざまし）

めざまし時刻になると、ラジオが鳴ります。
初めは、やや小さ目の音量で始まります。
希望の放送局を選局し、音量を調節してから
次の操作をしてください。

3 時刻調整/切ボタンを押し、 ラジオを切ります。

ラジオめざまし
インジケータ



1 ラジオめざましスイッチを“入”にします。
ラジオめざましインジケータが点灯します。

2 めざまし時刻調整ボタンを押しながら、
時刻調整ボタンで、希望の時刻に合わせ
ます。

●めざまし時刻を確かめるには

確かめたい方のめざまし時刻調整ボタンを押します。

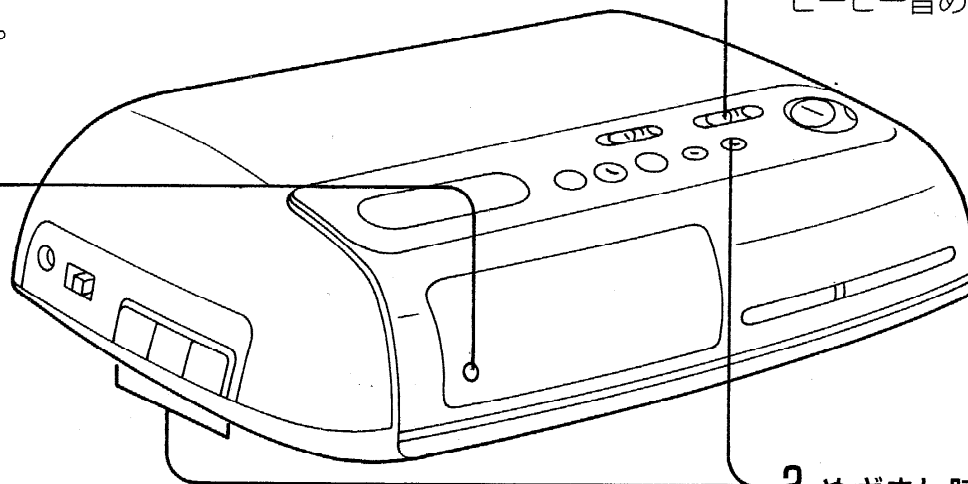
●めざまし音は、59分後に自動的に切れます。

●めざまし音を途中で止めるには、時刻調整/切ボタンを押
します。

■ピーピー音で起きるには（ピーピー音めざまし）

めざまし時刻になると、ピーピー音が鳴ります。
音量調節つまみの位置に関係なく、ピーピー音の
大きさは一定です。

ピーピー音めざまし
インジケータ



1 ピーピー音めざましスイッチを“入”にします。
ピーピー音めざましインジケータが点灯します。

2 めざまし時刻調整ボタンを押しながら、
時刻調整ボタンで、希望の時刻に合わせ
ます。

●めざましのセットを取消するには

取消したい方のめざまし切換スイッチ（ラジオ音めざまし
またはピーピー音めざまし）を“切”にします。めざまし
インジケータが消えます。

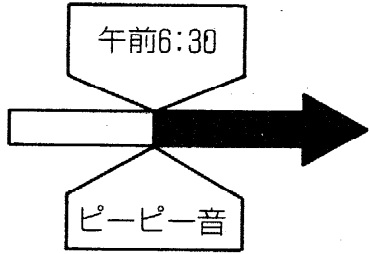
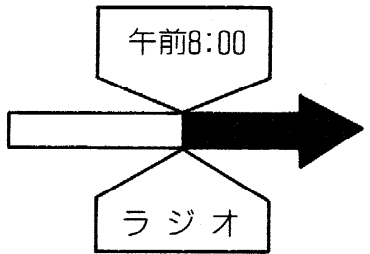
（時刻調整/切ボタンでめざまし音を止めただけで、セット
された時刻に毎日めざましが働きます。）

■ラジオめざまし・ピーピー音めざましの便利な使いかた

2種類のめざましを次のように使い分けると便利です。

例……月～土曜日はピーピー音で起き、日曜日にはラジオで起きるとき。

(あらかじめ、ピーピー音めざましを“午前6:30”、ラジオめざましを“午前8:00”にセットしておきます。)

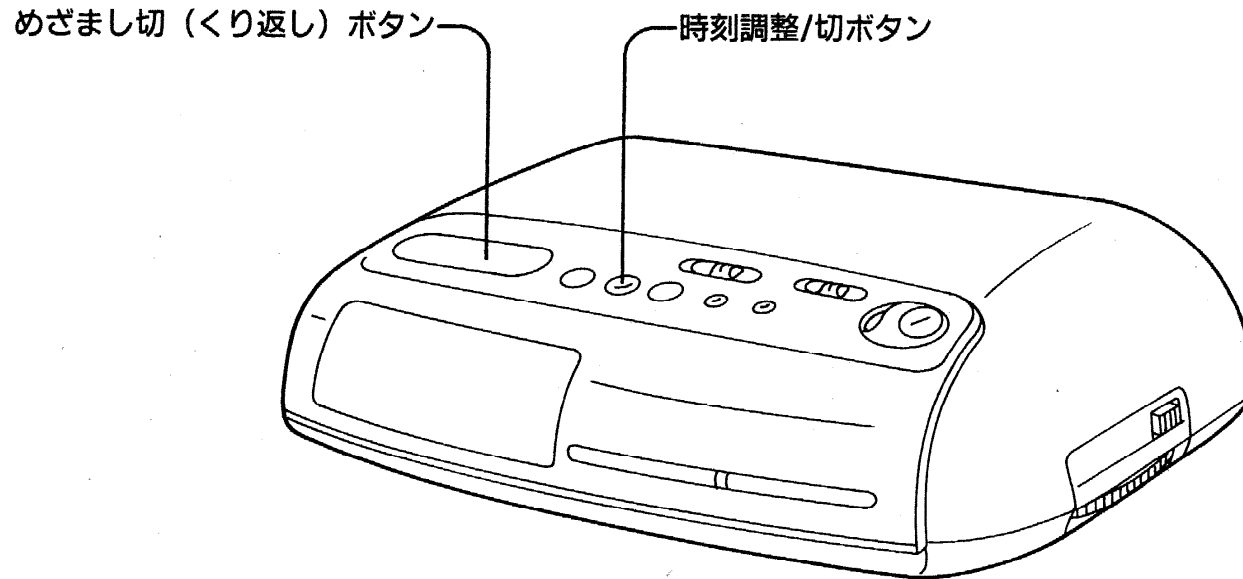
	月～土曜日	日曜日
ラジオめざまし スイッチ	“切”	“入”
ピーピー音めざまし スイッチ	“入”	“切”
めざまし音		

ご注意

- 2つのめざまし時刻調整ボタンを同時に押すと、“ラジオめざまし”の時刻表示になります。
- ラジオめざまし・ピーピー音めざましを同じ時刻にセットすると、ラジオとピーピー音が同時に働きます。

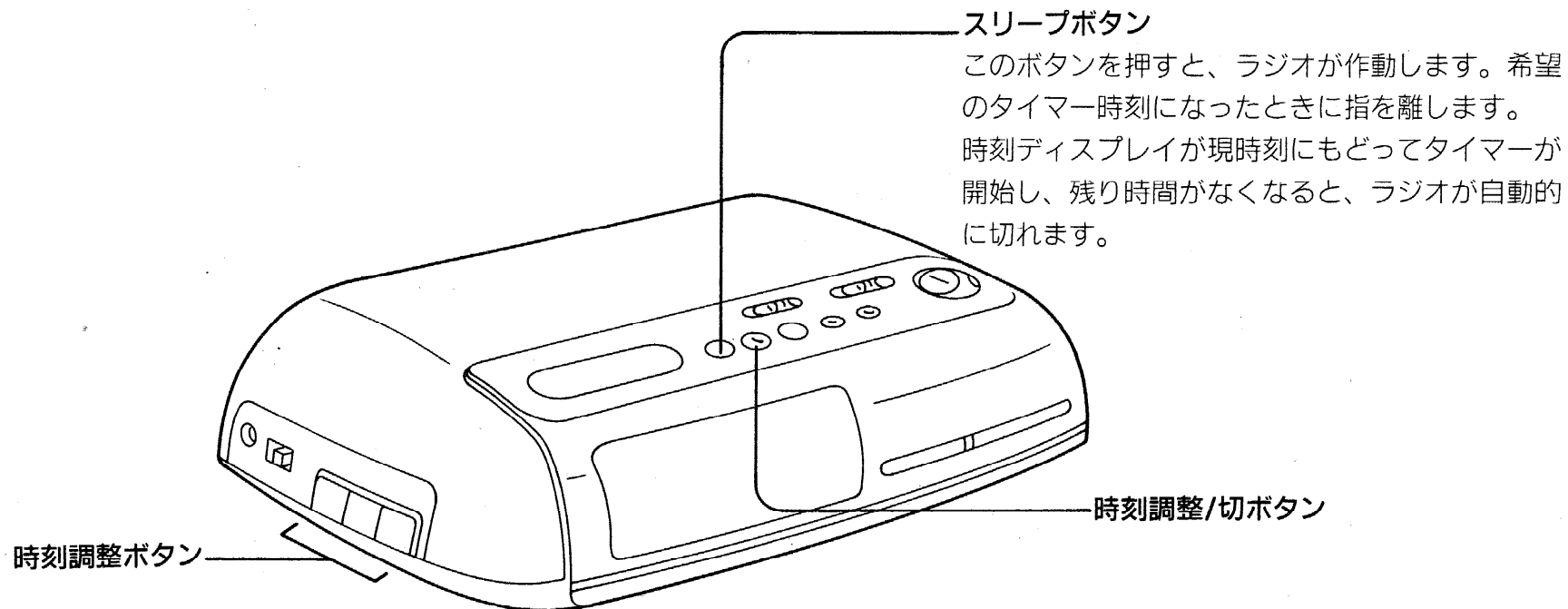
■めざまし音をくり返すには

めざまし音（ラジオまたはピーピー音）が鳴り出しても、もう少し眠っていたいとき、めざまし切（くり返し）ボタンを押すと、めざまし音が止まり、7分後再び鳴りだします。めざましを完全に止めるには、時刻調整/切ボタンを押してください。



おやすみタイマーを使うには

ラジオ放送を聞きながら眠ってしまっても、自動的にラジオが切れる機能です。1～59分までセットできます。途中でラジオを切るときは、時刻調整/切ボタンを押します。



- 途中でタイマーの残り時間を知りたいときは、スリープボタンを押します。

- スリープボタンを押しながら、時刻調整ボタンでタイマー時間を変えることができます。

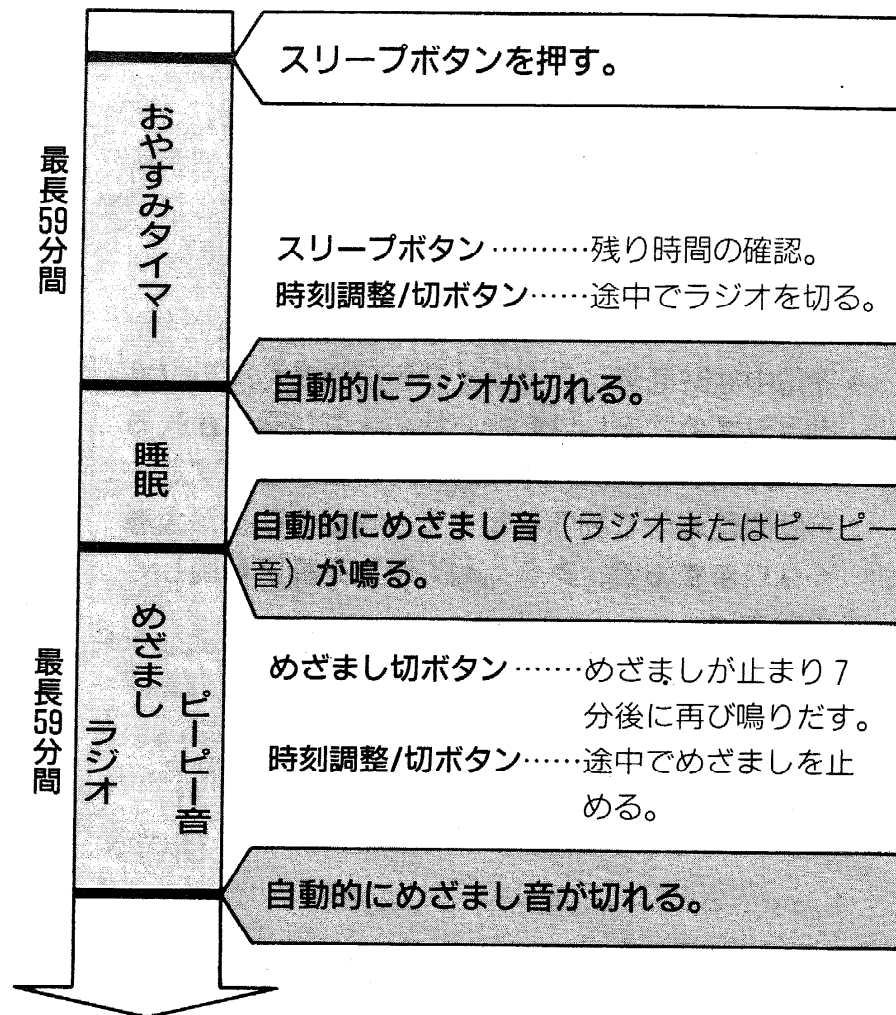
おやすみタイマーとめざましを上手に使うには

おやすみの際にラジオを自動的に切り、翌朝めざまし時計として使うときは、つぎの操作をしてください。

1 “めざまし時計として使うには”の説明にしたがって、めざましをセットします。

2 スリープボタンを押します。

ラジオは、59分（または、セットされた時間）後に自動的に切れ、翌朝、セットされた時刻にめざましが働きます。



停電補償用乾電池について

一般の電子時計では電源が中断した場合（停電や電源プラグをコンセントから抜いたとき）は、時刻表示およびめざまし時刻がくるってしまいます。

本機は停電補償回路を内蔵していますので、乾電池（別売り）を接続しておくことで電源が中断した場合でも時刻とめざまし時刻を保持します。さらに、停電中もピーピー音めざましが働きます。

ご注意：

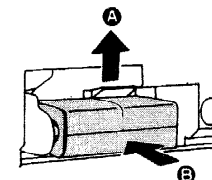
- 停電中は時刻ディスプレイの表示は消え、ラジオとラジオめざましは働きません。再び電源が入ると、時刻ディスプレイに現時刻を表示します。
- 長時間乾電池で動作させますと時間の誤差が大きくなりますので、あらためて時刻を調整し直してください。

■乾電池の入れかた

1. 別売りの乾電池（6F22/6LR61）1個を図のように極性（⊕、⊖）をまちがえないよう、本機底面の端子に接続してください。



2. 本機底面の電池押さえをA方向へ押しながら乾電池をB方向に押し入れてください。



■乾電池の交換時期

- 停電がほとんどなかった場合でも、1年に1回は必ず乾電池を交換してください。
- 27時間以上の停電の後には必ず乾電池を交換してください。
- 本機への通電が、停電などで一時中断し、再び電源が入ったときに、時刻ディスプレイが点滅することがあります。このときは、あらためて現時刻とめざまし時刻の調整をし、乾電池を交換してください。

■乾電池使用上のご注意

- 乾電池の漏液や消耗を防ぐため、長時間電源コードをコンセントから抜いておく場合は、乾電池を取出しておいてください。
- 夜間などに電源を切る場所（例えば、オフィスなど）では長時間停電と同じ状態になり、乾電池の消耗が早だけでなく、時間の誤差も大きくなりますので、このような場所での使用（停電補償回路を動作させること）は避けてください。
- 火の中への投入や、ショート（短絡）、分解、加熱しないでください。
- ⊕プラスと⊖マイナスは正しく接続してください。
- 停電のあと、時刻ディスプレイは、1時間につき6分程度遅れたり進んだりすることがあります。

アフターサービスについて

保証書（別に添付しています）

保証書は必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

修理を依頼されるとき！

取扱説明書に従って調べていただき直らないときには次の処置をしてください。

●保証期間中は……

おそれいりますが製品に保証書を添えて、お求めの販売店までご持参ください。

保証書の規定に従って販売店で修理させていただきます。

●保証期間が過ぎているときは……

お求めの販売店にまずご相談ください。

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

補修用性能部品の最低保有期間

本機の補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）の最低保有期間は、製造打切りの後6年です。

この期間は通商産業省の指導によるものです。

アフターサービスについておわかりにならないとき

お求めの販売店または最寄りの「ご相談窓口」（別紙ご参照）にお問い合わせください。

定 格

受信周波数：FM/TV(1-3CH)；76-108MHz

AM；525-1605kHz

スピーカ：8cm

実用最大出力：300mV(EIAJ)

電 源：AC100V，50/60Hz

停電補償回路用：DC(乾電池)9V，

6F22/6LR61タイプ1個(別売り)

消費電力：5W

最大外形寸法：231(W)60(H)×153(D)mm(EIAJ)

重 量：約685g(乾電池なし)

約720g(乾電池を含む)

★この定格は性能向上のため変更することがあります。

便利メモ(おぼえのため、記入されると便利です。)

ご購入年月日	年 月 日	品番	RC-6199
ご購入店名	電 話 () -		
最寄りの ご相談窓口	電 話 () -		

松下電器産業株式会社 オーディオ事業部

〒571 大阪府門真市松生町1番4号 ☎ (06) 909-1021

RQT1265-S F0691t0